# 一 般 教 育 訓 練 明 示 書

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 講 座 の 名 称 | 登録販売者受験対策講座eラーニング+全国公開模擬試験（会場） | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実 施 方 法 | ① 通学 （ 昼間 ・ 夜間 ・ 土日 ） ② 通信 スクーリング（回数 1 回） | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指 定 講 座 番 号 | 1 | 3 | 2 | 1 | 4 | 1 | 9 | ー | 2 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | ー | 0 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 講 座 の 創 設 年 月 日<br>平成20年4月 1日 | 一般教育訓練給付金対象講座の指定期間<br>令和 10年 3月31日まで | 過 去 一 年 の 講 座 実 績 | 入講者数（累積）（16人） / 修了者数（16人） |
| 訓 練 期 間 | 11ヶ月 | 総 訓 練 時 間 | 時間 |

1. 教 育 訓 練 目 標

| | |
|---|---|
| ①取得目標とする資格の名称、目標レベル | 登録販売者 |
| ②①に係る資格・試験等の実施機関名称 | 厚生労働省 |
| ③当該資格等を取得するための要件または受験資格等 | 講座に関しての技術・知識習得を希望する者、技術の習得を基に各分野で自己実現をはかろうとする意欲のある者であれば、年齢・学歴・性別は問わない。 |
| ④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されておいる業界と活用状況 | ドラックストアや調剤薬局に加えコンビニエンスストアやスーパーマーケット、ホームセンターなどでも一般用医薬品販売を行うケースが増えており、それら施設内で一般用医薬品を販売するために必要な資格として登録販売者資格者が活用されている。 |

2. 教 育 訓 練 の 内 容

| 教 科 （カリキュラム） | 時 間 | 使 用 教 材 名 |
|---|---|---|
| 医薬品に共通する特性と基本的な知識 | 3 | 登録販売者 受験対策テキスト |
| 人体の動きと医薬品① | 3 | 登録販売者試験 手引き集 |
| 人体の動きと医薬品② | 3 | |
| 薬の働くしくみ・症状から見た主な副作用 | 3 | |
| かぜ薬、解熱鎮痛剤、眠気を促す（防ぐ）薬 | 3 | |
| 小児科鎮静薬、呼吸器官に作用する薬、口腔咽頭薬、うがい薬 | 3 | |
| 胃腸薬、浣腸薬、駆虫薬、 | 3 | |
| 強心薬、高コレステロール改善薬、貧血用薬、痔の薬、泌尿器用薬 | 3 | |
| 婦人薬、アレルギー用薬、鼻に用いる薬、眼科用薬 | 3 | |
| 皮膚に用いる薬、歯や口中に用いる薬、禁煙補助剤 | 3 | |
| 漢方薬、消毒殺菌薬、検査薬 | 3 | |
| 薬事関連法規と制度① | 3 | |
| 薬事関連法規と制度②、医薬品の適正使用と安全対策 | 3 | |
| 医薬品の適正使用と安全対策 | 3 | |
| 公開模擬試験（会場） | 4 | |

3. 受 講 者 と な る た め の 要 件（この講座を受講するために必要とされている条件など）

| | |
|---|---|
| ①受講するに当たって必要な実務経験等 | 特になし |
| ②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準 | 知識の習得を基に自己実現をはかろうとする意欲のある者であれば、年齢・学歴・性別は問わない。 |
| ③その他 | |

# 一 般 教 育 訓 練 明 示 書

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

**(1)資格取得状況**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ① 昨年度内の受講修了者数 | 16 | 人 | | | |
| ② ①のうち目標資格の受験者数 | 8 | 人 | 受験率(②/①) | 50.0% | % |
| ③ ②のうち合格者数 | 5 | 人 | 合格率(③/②) | 62.5% | % |
| ④ 上記②・③の回答者数 | 12 | 人 | | | |

**(2)受講修了者による講座の評価等**

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 回答者総数 | | 7 | 人 | |
| ② 受講開始時の就業状況等 | 1 正社員 | 2 | 人 | ②A:就業者計 |
| | 2 非正社員、派遣社員 | 1 | 人 | |
| | 3 その他の就業(自営業等) | 1 | 人 | 4人 |
| | 4 非就業 | 3 | 人 | ②B:非就業者計 |
| ③ 就業中の受講者による講座の評価 | 1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ | 1 | 人 | ③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下) |
| | 2 配置転換等により希望の業務に従事できる | 0 | 人 | |
| | 3 社内外の評価が高まる | 0 | 人 | |
| | 4 円滑な転職に役立つ | 1 | 人 | |
| | 5 趣味・教養に役立つ | 1 | 人 | |
| | 6 その他の効果 | 0 | 人 | |
| | 7 特に効果はない | 1 | 人 | 4人 |
| ④ 就業していない受講者による講座の評価 | 1 早期に就職できる | 0 | 人 | ④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下) |
| | 2 希望の職種・業界で就職できる | 1 | 人 | |
| | 3 より良い条件(賃金等)で就職できる | 1 | 人 | |
| | 4 趣味・教養に役立つ | 0 | 人 | |
| | 5 その他の効果 | 1 | 人 | |
| | 6 特に効果はない | 0 | 人 | 3人 |
| ⑤ 受講者の就業状況 | 1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した | 0 | 人 | ⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下) |
| | 2 受講修了後3～6か月以内に就職した | 2 | 人 | |
| | 3 受講修了後6～12か月以内に就職した | 1 | 人 | |
| | 4 就職していない | 0 | 人 | 3人 |
| ⑥ 講座の全体評価 | 1 大変満足 | 2 | 人 | ⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下) |
| | 2 おおむね満足 | 3 | 人 | |
| | 3 どちらとも言えない | 1 | 人 | 7人 |
| | 4 やや不満 | 0 | 人 | |
| | 5 大いに不満 | 1 | 人 | |

5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

| | |
|---|---|
| 1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法 | 卒業単位を満たし卒業試験合格 |
| (通信制講座の場合)<br>スクーリングの実施場所、時期、期間・回数 | 会場で行う公開模擬試験(1日で実施)を随時、各地域で実施する。 |

6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法

eラーニング上で課題を全て解答し、模擬試験における出席と6割以上の成績をおさめた者に対し修了を認定する。

# 一 般 教 育 訓 練 明 示 書

| 7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法 | |
|---|---|
| (1)受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法 | ・電話・郵便・FAX・e-mailによる質問受付の際、講師より個別に対応する。<br>・模擬試験実施で現状の到達度を確認する。 |
| (2)受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制<br>(例:資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況) | ・受講有効期間において、無制限で質問サービスを提供 |

| 8. その他の事項 | | |
|---|---|---|
| 指定教育訓練実施者名及び代表者名 | 株式会社 日本教育クリエイト | (代表者名: 鳥居 敏 ) |
| 住所及び連絡先 | 東京都新宿区西新宿1-23-7 新宿ファーストウエスト7F | TEL 03-5909-1508 |
| 施設名称及び施設長名 | 三幸医療カレッジ | (施設長:代表取締役 鳥居敏 ) |
| 住所及び連絡先 | 東京都新宿区西新宿1-23-7 新宿ファーストウエスト7F | TEL 03-5909-1508 |
| 給付制度担当部署・者 | 三幸医療カレッジ | (担当者:吉田 陽江 ) |
| 連絡先 | TEL 03-5909-1508 | |

| 一般教育訓練経費 | | | |
|---|---|---|---|
| 支払い方法 | 1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②) | 43,450 | 円 |
| ① 一括払 | ① 入学料 ( 税込額 )<br>(※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。) | 0 | 円 |
| ② 分割払 | ② 受講料 ( 税込額 )<br>(※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。) | 43,450<br>(うち、必須教材費 12,100 | 円<br>円 ) |
| ③ 両方可能 | 2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④) | 0 | 円 |
| | ① 副読本代(税込額) | 0 | 円 |
| | ② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額) | 0 | 円 |
| | ③ 施設維持費(税込額) | 0 | 円 |
| | ④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額) | 0 | 円 |
| | 3. 総額 (1+2) (税込額) | 43,450 | 円 |

〔特記事項〕